



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社コンフィデンス・インターワークス 上場取引所 東
コード番号 7374 URL <https://ciw.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤岷 宣之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 永井 晃司 TEL 03(5312)7700
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,377	39.3	895	20.7	843	13.7	547	8.7
2023年3月期第3四半期	3,861	19.0	742	31.3	741	32.8	503	23.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 547百万円 (8.7%) 2023年3月期第3四半期 503百万円 (23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	95.59	93.92
2023年3月期第3四半期	109.92	106.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,747	5,762	85.1
2023年3月期	2,892	2,023	69.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,740百万円 2023年3月期 2,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	20.00	-	28.00	48.00
2024年3月期	-	25.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	53.9	1,120	20.0	1,065	14.8	725	17.3	118.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	6,609,977株	2023年3月期	4,623,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,203株	2023年3月期	46株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,726,771株	2023年3月期3Q	4,582,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高が響き7～9月度においてマイナス成長を示したものの、大企業製造業で3四半期連続の改善、非製造業で32年ぶりの高水準、中堅・中小の製造業も改善に転じ、「緩やかな回復を続ける」との日銀の見通しに沿った傾向を示しております。

企業コスト上昇分の価格転嫁による業績改善が大きな要因であり、部材供給制限の緩和等に伴う販売が好調な自動車業界を中心とした製造業の回復と、非製造業におけるインバウンド等による需要の拡大が景況改善の原動力となっております。

価格転嫁への消費の反応、原材料・エネルギーコスト高、海外経済減速の輸出への影響、人手不足や人件費上昇等の懸念材料による先行きの不透明な状況は続くものの、引き続き需要主導の緩やかな回復基調が見込まれます。

また、当社グループ全体の事業領域である人材ビジネス市場の状況は、2023年11月の完全失業率（季節調整値）は2.5%（前年同月2.5%、前月2.5%）、有効求人倍率（季節調整値）は1.28倍（前年同月1.35倍、前月1.30倍）、新規求人倍率（季節調整値）は2.26倍（前年同月2.42倍、前月2.24倍）の国内雇用状況であり、堅調に推移しております。

当社グループの主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」が主にサービス提供を行っているゲーム業界においては、国内家庭用ゲームのハード・ソフト市場ともに市場規模は拡大している状況にあり、ハードは2,097.8億円で前年対比103.4%、ソフトは1,650.4億円で前年対比104.1%、ハード・ソフト合計では3,748.2億円で前年対比103.7%（出典：ファミ通ゲームソフト・ハード売上ランキング 2022年年報）となっております。一方で、2022年の世界のモバイルゲーム市場規模は8兆9,146億円で前年比97.2%、その中でも日本の市場規模は1兆2,129億円で前年比92.9%と若干縮小傾向となっております（出典：ファミ通モバイルゲーム白書2023）。モバイルゲーム市場規模は若干減少傾向にあるものの、ゲーム市場は概ね安定的に推移しており、ゲーム会社各社の業績は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループの「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、モバイルゲーム市場が軟調に推移しているものの主力のゲーム会社向け派遣事業において配属者数を拡大するため、新規取引先の開拓のみならず、既存取引先のさらなる深耕を継続して取り組んでおります。

また、「HRソリューション事業 人材紹介」及び「メディア&ソリューション事業」の大半は、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併により組み込まれたものであり、雇用環境の情勢を反映して業績は堅調に推移しております。

なお、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併に伴う費用（営業外費用）が、経常利益以下の各段階損益へ相応の影響を及ぼしております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,377,382千円（前年同期比39.3%増）、営業利益895,750千円（前年同期比20.7%増）、経常利益843,322千円（前年同期比13.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益547,402千円（前年同期比8.7%増）となりました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

第2四半期連結会計期間の2023年8月1日付で株式会社インターワークスを吸収合併したことに伴い、当社グループの事業領域が大幅に拡大したことから、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を「HRソリューション事業 人材派遣・受託」、「HRソリューション事業 人材紹介」、「メディア&ソリューション事業」の区分へ変更しております。

当該変更は、前連結会計年度より取り組んでおりました当社グループの経営基盤の強化を目的としたグループ再編等を踏まえ、マネジメント・アプローチの視点から当該組織体制を反映させるための変更であり、当社企業グループの状況を適切に把握できると判断したものであります。

<HRソリューション事業 人材派遣・受託>

主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」におきましては、主力のゲーム会社向け人材派遣サービス、並びにゲーム会社を中心とした顧客からの受託サービスを展開しております。

人材派遣サービスにおいては、モバイルゲーム市場が軟調に推移する中、家庭用ゲーム市場の人材ニーズは堅調であり、当該外部環境変化への対応を図っているものの取組みが過渡期となっております。この結果、クリエイター配属数について前連結会計年度末と比べて増加しているものの、当第3四半期連結会計期間においては軟調に推移しております。

クリエイター配属数を増加に転じさせるため、引き続き、新規取引先の開拓に加え、既存取引先の部署別・タイトル別開拓を行うことにより、受注案件数を拡大してまいります。クリエイターの採用市場においては、採用媒体の選定や採用広告の出稿配分を最適化することにより、ゲーム会社からの需要に応えられるクリエイターを採用しており、これに加えて、自社の求人メディアを開設することにより求職者の応募チャネルの増加を図ってまいります。

受託サービスにおいては、主にゲームタイトルのデバッグ業務を受託しており、守秘性が高いことから、新宿区に専用オフィスを設置しております。現在稼働中の案件は安定的に推移しており、人材派遣事業との連携を図り、新規案件のリード獲得数増加に努めております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高4,166,207千円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益1,074,012千円（前年同期比5.8%増）となりました。

<HRソリューション事業 人材紹介>

「HRソリューション事業 人材紹介」におきましては、メーカー・エネルギー・IT・ゲーム・エンタメ等の業界を中心とした顧客企業に対して、アッパーミドル層を中心とした高いプロフェッショナル性を持つ求職者を紹介する職業紹介サービスを展開しております。

なお、係る事業の大半は、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併により組み込まれたものであります。

KPIマネジメントやセクター別チーム戦略等によるコンサルタントの早期戦力化及び提供サービスの品質向上に加え、生産性向上への取り組みを継続して行っております。

直近において、コンサルタントの増員に伴う生産性の一時的な低下が生じており、事業効率が一時的に鈍化していたものの、既に原因分析と事業効率の改善への諸施策を講じており、業績は堅調に推移しております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高623,249千円（前年同期比1,856.4%増）、セグメント利益184,781千円（前年同期比3,181.3%増）となりました。

<メディア&ソリューション事業>

「メディア&ソリューション事業」におきましては、製造業界・工場に特化した求人メディア「工場ワークス」をはじめ、女性向けメディアの「Lovely」や、占いメディアの「plush.」など各種メディアを運営しております。

また、受託・その他のサービスとして、長年にわたり積み重ねたノウハウとHRTechを活用した採用アウトソーシングコンサルティングにより、企業の採用課題の解決を支援するサービス等を展開しております。

なお、係る事業の大半は、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併により組み込まれたものであります。

主要顧客である自動車分野の販売が好調であり製造業の市況が回復傾向にありますが、部材供給制限は払拭されておらず原材料コスト高等の各種制約から、受注は回復傾向にあるも大幅な増産等による受注の活性化までには繋がっておりません。

このような市場環境において、当社では、業績の回復に向けて流入数の増加やCVRの向上に向けた短期及び中長期の諸施策を継続して展開し、加えて、顧客の最終的な効果を底上げする諸施策の展開を強化することで事業効率の向上に努めており、業績は堅調に推移しております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高587,925千円（前年同期比1,494.6%増）、セグメント利益150,497千円（前年同期比703.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,855,322千円増加し、6,747,643千円となりました。

これは主に、現金及び預金の増加1,605,683千円（合併に伴う受入1,378,295千円、その他の増加（純額）227,388千円）、売掛金の増加196,228千円（合併に伴う受入214,319千円、その他の減少（純額）18,091千円）、ソフトウェアの増加106,515千円（合併に伴う受入123,340千円、その他の減少（純額）16,824千円）、のれんの増加1,581,062千円（合併に伴う発生1,649,804千円、償却による減少68,741千円）、繰延税金資産の増加60,013千円（合併に伴う受入132,257千円、その他の減少（純額）72,244千円）、及び差入保証金の増加159,816千円（合併に伴う受入119,071千円、その他の増加（純額）40,744千円）等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて116,844千円増加し、985,570千円となりました。

これは主に、買掛金の増加71,711千円（合併による受入61,349千円、その他の増加（純額）10,361千円）、未払金の増加119,323千円（合併による受入82,263千円、その他の増加（純額）37,059千円）、未払費用の増加73,350千円（合併による受入40,467千円、その他の増加（純額）32,883千円）、及び未払法人税等の減少145,378千円（合併による受入7,834千円、その他の減少（純額）153,213千円）等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,738,478千円増加し、5,762,072千円となりました。

これは、主に資本剰余金の増加3,482,377千円（合併に伴う増加3,480,927千円、その他の増加（純額）1,450千円）、利益剰余金の増加252,839千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.6%から85.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日の「2024年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,047,536	3,653,220
売掛金	572,768	768,996
未収入金	418	16,894
その他	41,291	108,297
貸倒引当金	—	△5,094
流動資産合計	2,662,015	4,542,315
固定資産		
有形固定資産		
建物	46,334	123,452
減価償却累計額	△2,464	△44,951
建物（純額）	43,869	78,500
工具、器具及び備品	47,859	102,755
減価償却累計額	△22,122	△73,813
工具、器具及び備品（純額）	25,736	28,941
有形固定資産合計	69,606	107,442
無形固定資産		
のれん	—	1,581,062
ソフトウェア	17,193	123,708
ソフトウェア仮勘定	—	13,000
商標権	128	—
無形固定資産合計	17,321	1,717,772
投資その他の資産		
投資有価証券	20,900	35,900
繰延税金資産	56,483	116,497
差入保証金	64,693	224,509
その他	1,300	3,227
貸倒引当金	—	△22
投資その他の資産合計	143,377	380,112
固定資産合計	230,305	2,205,327
資産合計	2,892,320	6,747,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	22,500	—
買掛金	2,270	73,981
未払金	80,588	199,911
未払費用	283,333	356,684
未払法人税等	216,116	70,738
未払消費税等	129,222	139,410
預り金	18,953	73,586
契約負債	—	2,727
返金負債	97	7,443
賞与引当金	115,632	61,087
流動負債合計	868,715	985,570
固定負債		
繰延税金負債	11	—
固定負債合計	11	—
負債合計	868,726	985,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	508,034	509,484
資本剰余金	400,028	3,882,406
利益剰余金	1,104,231	1,357,071
自己株式	△83	△8,390
株主資本合計	2,012,210	5,740,571
新株予約権	11,383	21,500
純資産合計	2,023,594	5,762,072
負債純資産合計	2,892,320	6,747,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,861,482	5,377,382
売上原価	2,497,095	2,954,414
売上総利益	1,364,387	2,422,968
販売費及び一般管理費	622,138	1,527,218
営業利益	742,249	895,750
営業外収益		
受取利息	8	42
受取家賃	30	1,205
助成金収入	—	279
その他	—	262
営業外収益合計	38	1,789
営業外費用		
支払利息	645	37
支払手数料	207	53,501
その他	—	678
営業外費用合計	852	54,217
経常利益	741,435	843,322
特別利益		
新株予約権戻入益	759	—
特別利益合計	759	—
特別損失		
固定資産除却損	2,873	—
事務所移転費用	10,157	4,507
特別損失合計	13,031	4,507
税金等調整前四半期純利益	729,164	838,814
法人税、住民税及び事業税	204,084	219,179
法人税等調整額	21,366	72,232
法人税等合計	225,451	291,411
四半期純利益	503,712	547,402
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	503,712	547,402

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	503,712	547,402
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	503,712	547,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,712	547,402
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月1日付で株式会社インターワークスと合併し、同社の普通株式1株につき、当社の普通株式0.205株を割当て交付いたしました。当該合併により、資本剰余金が3,480,927千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,882,406千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の見積りの変更)

当社は2023年11月17日付開催の取締役会において、東京オフィス移転に関する決議をいたしました。

これに伴い、移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ5,934千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	3,631,660	—	—	3,631,660	—	3,631,660
職業紹介	—	31,856	—	31,856	—	31,856
求人広告	—	—	—	—	—	—
受託・その他	161,095	—	36,870	197,965	—	197,965
外部顧客への売上高	3,792,756	31,856	36,870	3,861,482	—	3,861,482
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,251	—	—	14,251	△14,251	—
計	3,807,007	31,856	36,870	3,875,734	△14,251	3,861,482
セグメント利益	1,014,952	5,631	18,736	1,039,320	△297,070	742,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△297,070千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用297,070千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益 計算書計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	4,017,162	—	—	4,017,162	—	4,017,162
職業紹介	—	623,249	—	623,249	—	623,249
求人広告	—	—	431,508	431,508	—	431,508
受託・その他	149,044	—	156,417	305,461	—	305,461
外部顧客への売上高	4,166,207	623,249	587,925	5,377,382	—	5,377,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,166,207	623,249	587,925	5,377,382	—	5,377,382
セグメント利益	1,074,012	184,781	150,497	1,409,291	△513,541	895,750

(注) 1. セグメント利益の調整額△513,541千円には、のれんの償却額27,496千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用486,044千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第2四半期連結会計期間の2023年8月1日付で株式会社インターワークスを吸収合併し、社名を株式会社コンフィデンス・インターワークスへ変更しております。これに伴い、当社グループの事業領域が大幅に拡大したことから、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を「HRソリューション事業 人材派遣・受託」、「HRソリューション事業 人材紹介」、「メディア&ソリューション事業」の区分へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間に実施した株式会社インターワークスとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんは暫定的に算出された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、報告セグメントへ配分しております。

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
当第3四半期 連結累計期間償却額	—	26,809	14,435	41,245	27,496	68,741
当第3四半期 連結累計期間末残高	—	616,614	332,023	948,637	632,424	1,581,062

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社に係る金額であります。

(企業結合等関係)

発生したのれんは金額の確定

2023年8月1日付の株式会社インターワークスの吸収合併について、第2四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。